

第4節 健康福祉課

〔統括概要〕

健康福祉課における事務担当は、福祉担当、介護高齢担当、健康増進担当、こども担当で編成されている。

福祉担当では、民生委員児童委員に関すること、地域福祉の推進に関すること、日本赤十字社に関することなどの業務を行った。また、身体・知的・精神障がい者手帳の交付をはじめ障がい者を取り巻く環境や生活上の問題等について、相談支援や各種福祉サービスの提供等きめ細やかな対応に努めた。また、戦没者遺族会等の社会福祉団体の育成指導に関すること、生活保護等生活困窮者の相談支援を行った。

介護高齢担当では、本庁の高齢福祉課と連携し、高齢者が安心して暮らせる地域社会を目指して、各種高齢福祉事業の実施及び介護保険の各種申請受付等業務を実施した。また、第4期藤岡町介護保険事業計画に基づき、地域包括支援センターと連携して、地域支援事業の介護予防事業及び任意事業を実施した。地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康維持や生活の安定、保健、福祉、医療の向上、虐待防止など様々な課題に対して、地域における総合的マネジメントを担い、課題解決に向けて、包括的支援事業等に取り組んできた。

健康増進担当では、感染症のまんえん防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種を実施した。また、各種がん検診、歯周疾患検診及び骨粗しょう症検診等を実施し、併せて高齢者の医療の確保に関する法律に基づき衛生部門として、特定健康診査及び特定保健指導を行った。さらに、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児の健康診査、各種教室や子育て相談、発達障がい等の早期発見、早期支援を目的とした乳幼児発達相談及び小中学校と連携した小児生活習慣病予防健診、健康教育を実施した。健康づくり事業については、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する健康相談及び健康教育事業を行い、自殺予防対策事業では、自殺に対する正しい知識の普及啓発を図るため、こころの健康教室を開催した。渡良瀬の里では、高齢者をはじめ各世代の人たちが交流を深めるコミュニティの場、健康維持を図る施設として管理運営に努めた。

こども担当では、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資するため、児童手当、赤ちゃん誕生祝金などの各種申請受付業務を行った。また、幼稚園就園奨励費補助事業については、幼稚園に就園する園児世帯の経済的負担軽減のため、保育料等の減免措置に係る補助金の交付事務を行った。放課後児童健全育成事業については、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対し、遊びを主とする指導を行った。地域子育て支援センターについては、親同士や保育士との交流から、育児に関する情報交換、ストレスや不安を取り除く場として、明るく楽しい子育ての支援に努めた。保育所については、保護者の就労形態や就労時間の多様化に伴い、一時保育事業の特別保育を実施し、児童の福祉の向上を図った。

福祉担当

1 民生委員児童委員関係

民生委員児童委員42人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員4人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1) 相談・指導状況 (単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費
206	5	15	39	11	23
年金・保険	非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
15	436	33	968	1,751	41.6

(2) 調査等状況 (単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合・行事への参加	友愛訪問・安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
1,085	57	1,843	5,186	3,354	11,525	274.4

2 日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため災害救護を実施した。

(1) 日赤募金

目標額	実績額	達成率
1,701,000円	1,655,690円	97.3%

(2) 災害による救援品配布状況

区分	世帯数	人数	毛布	布団	日用品
火災	1世帯	2人	2枚	2組	1個

(3) 災害見舞金給付状況 (単位：件)

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
—	—	—	—	—

3 地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者及び障がい児に、創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るために栃木市社会福祉協議会に委託（指定管理）し、実施した。

- ・施設名 藤岡地域活動支援センター
- ・所在地 藤岡町都賀390-13
- ・開所日数 243日
- ・通所延べ人員 1,782人

4 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。

区 分		実施状況(人)
交付者数		362
	うち高齢者(80歳以上)	295
	高齢者(65～79歳)	9
	障がい者	46
	腎臓機能障がい者	12

5 身体障がい者の現況(身体障がい者手帳交付状況)

障がい区分	手帳所持者数	平成24年度中交付者数
視覚障がい	31	0
聴覚・平衡障がい	65	4
音声・言語・そしゃく障がい	3	1
肢体不自由障がい	316	26
内部障がい	184	18
複合障がい	23	3
合 計	622	52

6 知的障がい者(児)の現況(療育手帳交付者数) (単位:人)

区 分	障がい児(18歳未満)		障がい者		合 計
	男	女	男	女	
重度(A1・A2)	3	2	25	29	59
中度(B1)	5	2	30	17	54
軽度(B2)	7	1	18	5	31
合 計	15	5	73	51	144

7 精神障がい者福祉関係

(1) 精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳交付者数)

区 分	交付者数(人)	比 率(%)
1 級	15	18.8
2 級	49	61.2
3 級	16	20.0
合 計	80	100.0

(2) 自立支援医療費（精神通院）受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、平成24年度は164人が受給した。

8 身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1) 身体障がい者（児）の補装具交付及び修理 (単位：件)

区 分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義手	-	-	-	-	-	-
	義足	-	-	-	-	-	-
装具	下肢	4	-	4	-	-	-
	靴型	-	-	-	-	-	-
	体幹	-	-	-	-	-	-
	上肢	1	-	1	-	-	-
座位保持装置		-	-	-	-	-	-
盲人安全つえ		1	-	1	-	-	-
義眼		-	-	-	-	-	-
眼鏡	矯正眼鏡	-	-	-	-	-	-
	遮光眼鏡	1	-	1	-	-	-
	弱視眼鏡	-	-	-	-	-	-
補聴器	高度難聴用ポケット型	-	-	-	-	-	-
	高度難聴用耳掛け型	3	2	5	-	1	1
	重度難聴用ポケット型	1	1	2	-	-	-
	重度難聴用耳掛け型	2	2	4	-	4	4
車いす	普通型	-	1	1	-	-	-
	その他	3	3	6	1	-	1
電動車いす		-	-	-	-	-	-
起立保持具		-	-	-	-	-	-
座位保持いす		-	-	-	-	-	-
歩行器		-	-	-	-	-	-
歩行補助つえ		-	-	-	-	-	-
重度障がい者用意思伝達装置		-	-	-	-	-	-
特例補装具		-	-	-	-	-	-
合計		16	9	25	1	5	6

(2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付

(単位：件)

区 分	身体障がい者	身体障がい児
特 殊 寝 台	-	-
特 殊 マ ッ ト	-	-
特 殊 尿 器	-	-
移 動 用 リ フ ト	-	-
訓 練 い す	-	1
入 浴 補 助 用 具	1	-
体 位 変 換 器	-	-
便 器	-	-
T 字 状 ・ 棒 状 の つ え	-	-
移 動 ・ 移 乗 支 援 用 具	-	-
頭 部 保 護 帽	-	-
特 殊 便 器	-	-
火 災 警 報 器	-	-
自 動 消 火 器	-	-
聴覚障がい者用屋内信号装置	-	-
透 析 液 加 温 器	-	-
ネ ブ ラ イ ザ ー	-	-
電 気 式 た ん 吸 引 器	-	-
点 字 タ イ プ ラ イ タ ー	-	-
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	1	-
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	-	-
視覚障がい者用拡大読書器	-	-
盲 人 用 時 計	-	-
盲 人 用 体 温 計	-	-
盲 人 用 体 重 計	-	-
点 字 デ ィ ス プ レ イ	-	-
聴覚障がい者用通信装置	-	-
聴覚障がい者用情報受信装置	-	-
人 工 喉 頭	-	-
携 帯 用 会 話 補 助 装 置	-	-
情 報 ・ 通 信 支 援 用 具	-	-
点 字 図 書	-	-

ス ト マ 用 装 具	34	-
紙 お む つ	4	2
収 尿 器	-	-
居 宅 生 活 動 作 補 助 用 具	-	-
合 計	40	3

9 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）受給状況

（単位：人）

種 別	給付決定者数
視 覚 障 が い	-
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 が い	-
音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 が い	-
免 疫 機 能 障 が い	-
肢 体 不 自 由	2
心 臓 機 能 障 が い	3
腎 臓 機 能 障 が い	43
計	48

10 身体障がい者等福祉関係

・身体障がい者の自立更生について、1人の身体障害者相談員が相談指導に当たった。

介護高齢担当

1 高齢者人口・生活態様別統計

(1) 高齢者人口（藤岡地域4月1日現在）

区分 \ 年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
総人口(人)	17,666	17,412	17,128
65歳以上人口(人)	4,662	4,675	4,744
総人口に対する割合(%)	26.39	26.85	27.70

(2) 高齢者生活態様（5～6月調査結果）

区分 \ 年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
独居（世帯数）	—	385	403
高齢者世帯（世帯数）	—	426	436

2 敬老祝賀事業

9月1日において、本市に引続き1年以上居住し、当該年度に85歳、90歳、95歳、100

歳、101歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に長寿を祝して敬老の日に合わせて敬老祝金を贈呈した。95歳以下の方への配付は、民生委員の協力を得た。100歳の方については、市長が慶賀訪問した。

区 分	支給額(円)	対象人数(人)
85歳	10,000	147
90歳	20,000	57
95歳	30,000	16
100歳	100,000	3
101歳以上	50,000	7

3 敬老会事業

敬老事業を実施した、老人クラブ・自治会等に補助金を交付した。

- ・ 交付基準額 対象地域在住 80歳以上 1人につき、1,000円
- ・ 交付状況 老人クラブ 16団体（46自治会分）
自治会等 15団体（23自治会分）
- ・ 交付額 1,310,000円 ※本庁高齢福祉課予算

4 老人クラブ育成指導事業

藤岡町老人クラブ連合会の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導助成を行った。

- ・ 単位老人クラブ数（藤岡地域） 16クラブ
- ・ 藤岡町老人クラブ連合会会員数 1,027人
- ・ 助成額 単位老人クラブ助成 816,000円 ※本庁高齢福祉課予算
藤岡町老人クラブ連合会 370,000円 ※本庁高齢福祉課予算

5 老人スポーツ大会

藤岡町老人クラブ連合会藤岡支部主催により、個人・団体競技等を行い、会員の健康増進と親睦・交流を図った。また、藤岡地域の保育園児とのダンス、各種サークルのダンス等を行い、世代間の交流を行った。

- ・ 実施日 11月9日（金）
- ・ 会 場 藤岡総合体育館
- ・ 参加人員 400人

6 高齢者配食サービス事業

在宅で生活するひとり暮らし等の高齢者に対し、健康保持と福祉の増進を図るため昼食弁当（1食300円）を宅配し、併せて安否確認も行った。

- ・ 宅配個数 4,136個
- ・ 宅配人数 40人（実人数）
- ・ 宅配業者 （株）金時給食センター 柳橋町6-29

7 老人ホーム等入所措置支援

老人ホーム等入所措置入所前の支援を実施した。(入所措置は本庁介護保険課で実施)

- ・ 養護老人ホーム入所措置支援 1 件
- ・ 特別養護老人ホーム入所措置支援 1 件

8 日常生活用具購入費助成等事業

おおむね 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

- ・ 日常生活用具購入費助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
老人福祉車	34
小型暖房器具	33
電磁調理器	-
火災警報器	-
自動消火器	-

9 日常生活用具レンタル料助成事業

おおむね 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具のレンタル料の一部を助成した。

- ・ 日常生活用具レンタル料助成状況 (単位：件)

品 目	件 数
電動小型吸引機	-
特殊寝台	-
じょく瘡予防用具	-

10 緊急通報装置給付等事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

- ・ 設置状況 (単位：台)

既設置台数	平成 24 年度設置台数	平成 24 年度撤去台数	計
86	19	14	91

11 介護予防・生活支援事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

(1) 緊急ホームヘルパー派遣委託事業

- ・利用者数 1人
- ・延べ回数 37回 (27時間45分)

(2) 軽度生活援助員派遣委託事業

- ・利用者数 7人
- ・延べ利用時間

(単位：時間)

家事	-
除草	186
植木手入れ	-
大工	19

(3) 在宅高齢者短期入所事業

- ・利用者数 一人
- ・延べ宿泊数 一日

12 高齢者生きがいセンター管理運営委託事業

藤岡高齢者生きがいセンターの管理を、栃木市シルバー人材センターに委託した。

13 介護保険業務各種受理状況

内 容	件数(件)
要介護認定要支援認定申請 相談・受付・入力	695
介護保険被保険者証等再交付申請 受付・発行	134
介護給付費過誤申立 受付・入力(過年度分のみ)	-
介護保険住所地特例適用届 受付・入力・被保険者証発行	7
転入・転出・転居 資格管理等	11
転送希望届申請 受付・入力	36
居宅サービス計画作成依頼届 受付・入力	233
短期入所の30日を超える連続利用申請 受付・決定発行	12
短期入所の有効期間の半数超過利用申請 受付・決定発行	3
同居家族がいる場合の生活援助の提供申請 受付・決定発行	14
福祉用具購入費支給申請 受付・入力	46
住宅改修費支給申請 受付・入力・事前教示	25
高額介護サービス費支給申請 受付・入力	73
負担限度額認定証の交付申請 受付・決定発行	147
障がい者控除対象者認定申請 受付・決定発行	18
オムツ使用証明申請 受付・発行	1
介護保険事業者事故報告 受付	-

14 介護予防事業

(1) 二次予防事業

ア 二次予防事業対象者把握事業

65歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、回答していただくことにより、その結果に基づき生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者を把握した。

二次予防事業対象者のうち同意を得られた方を対象に介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。

・二次予防事業対象者把握状況

チェックリストによる対象者数 475人

イ 通所型介護予防事業

二次予防事業対象者のうち希望者に対し、2種類の通所型介護予防事業を公民館にて実施。活動的で生きがいのある生活が維持できるよう支援した。

実施状況

	実施回数	延べ人数（人）
複合型（運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上）	40	402
閉じこもり・認知・うつ予防	10	135

ウ 訪問型介護予防事業

心身の状況により通所が困難な二次予防事業対象者を対象に、看護師、歯科衛生士が訪問し相談指導を行った。平成24年度は該当者なし。

(2) 一次予防事業

ア 介護予防普及啓発事業

65歳以上の高齢者を対象に、介護予防に関する知識の普及啓発を行った。

実施状況

内容	実施回数	延べ人数（人）
運動器機能向上	37	754
閉じこもり・認知・うつ予防	10	134
口腔機能向上	1	27
認知症予防	1	5
こころの健康	2	44
熱中症予防	5	87
その他（福祉まつり時普及啓発）	1	150
計	57	1,201

イ 地域介護予防活動支援事業

地域において介護予防の自発的な活動が広く実施されるよう、地域福祉や介護予防の知識を習得する機会を設け、地域活動の人材育成や自主グループ活動支援を行った。

実施状況

	実施回数	延べ人数（人）
自主グループ活動支援	2	56
認知症サポーター養成講座	1	51
計	3	107

15 任意事業

(1) 介護給付等適正化事業

本庁にて作成した適正化の通知を、転送・転出・死亡等の確認後郵送した。

上期（8月）542件 下期（2月）601件

(2) 家族介護（継続）支援事業

ア 家族介護支援事業

介護に携わる家族が適切な介護知識、技術、サービス利用方法等を習得できるよう支援し、安心・安定して在宅介護が継続できるよう支援するための教室を新設した。

イ 在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

市内住所を有し、要介護認定3・4・5いずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数（延べ人数）（単位：人）

上半期	下半期	合計
160	160	320

ウ 紙おむつ購入助成事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5いずれかに認定された方で、日常生活において常時紙おむつが必要な方に対し、月額3,500円の紙おむつ購入費を助成した。

・紙おむつ購入費助成支給者数（延べ人数）（単位：人）

上半期	下半期	合計
142	151	293

(3) はつらつセンター事業

地域住民の参加と協力のもと、自治会公民館等において、各種サービスを提供することにより、高齢者の生きがいと社会参加を促進するとともに、家に閉じこもりがちなひとり暮らしの高齢者に対し、社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図った。

- ・事業実施者 自治会等
- ・利用対象者 藤岡地域に居住するおおむね65歳以上の方
- ・実施施設 地域の公民館、集会場、広場等
- ・実施内容 趣味・生きがい活動、教養講座・健康講座の開催、高齢者スポーツ活動、地域における交流活動等
- ・事業実施団体数 5センター（5自治会）
- ・委託料 1,430,000円

・実施回数・人数 延べ 455 回・4,052 人

(4) 高齢者ふれあい相談員事業（藤岡地域）

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対し、家庭訪問を通して、時の話題を提供しながら、安否の確認、相談等を行った。

- ・相談員数 84 人
- ・訪問世帯数 587 世帯

16 その他の高齢者支援事業

高齢者の各種相談に応じた。また、地域ケア会議については、会議としての検討事例はなかったが、困難事例の処遇については、適宜関係者のみで検討を行った。

	実件数(件)	延件数(件)
面接	272	318
電話相談		79

17 地域包括支援センター

(1) 地域包括支援センター設置状況

藤岡地域包括支援センター 藤岡町藤岡 1022-5 藤岡総合支所健康福祉課内

(2) 包括的支援事業

ア 介護予防ケアマネジメント事業

二次予防事業対象者のうち同意を得られた方を対象に、介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。二次予防事業対象者が要支援状態等となることを予防するため、対象者自らの選択に基づき、介護予防サービス等が包括的効率的に受けられるよう支援した。

また、指定介護予防支援事業者として、要支援者を対象とする予防給付のケアマネジメントを実施し、連続的で一貫性のある介護予防ケアマネジメントを行った。

・ 介護予防サービス計画作成状況

地域包括支援センターによる作成件数 49 人

・ 要支援 1・2 の介護予防サービス計画作成状況（実人数）（単位：件）

地域包括支援センターによる作成件数	40
事業者委託件数	94
合計	134

・ サービス担当者会議実施状況

地域包括支援センター主催及び委託事業所実施への参加 21 件

・ 住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況

地域包括支援センターによる作成件数 8 件

イ 総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活が継続していくことができるよう、地域関係者とのネットワークを構築するとともに、各種相談を幅広く受け付けた。

実施状況 (単位：件)

	延べ件数
面接	58
電話相談	239
家庭訪問	517

ウ 権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員等の支援だけでは問題解決出来ない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活が送れるよう高齢者の権利擁護のため、関係課と連携し専門的・継続的な支援を行った。

実施状況 (単位：件)

	延べ件数
権利擁護（成年後見制度等）に関すること	1
高齢者虐待に関すること	1
合 計	2

(3) 包括的継続的ケアマネジメント支援事業

地域における多職種連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

健康増進担当

1 生涯すこやかふじおか21プラン推進事業

「妊娠出産期・乳幼児期」「学童期」「思春期」「青年期」「壮年期」「高年期」の6つのライフステージ毎に、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう関係機関と連携し健康づくりを推進した。

主な取組

- ・乳児健診・離乳食指導等において、保護者の健康づくりの重要性について啓発
- ・乳幼児健診（4か月児・1歳6か月児）において、受動喫煙の害について啓発
- ・家族と子どもの料理教室の開催
- ・小児生活習慣病予防事業の実施
- ・脱メタボ！健康教室等を開催し、運動の重要性について啓発
- ・ふくしま祭り、産業祭等のイベントにおいて、禁煙教育を実施
- ・ふくしま祭り、産業祭において、歯周疾患予防教育を実施

2 母子保健事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした方等に対して母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・出産についてのアンケートを実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行

うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

・受理及び交付状況 (単位：件)

妊娠届出数	母子健康手帳交付数			
	妊娠届出	双胎	紛失等	
78	85	78	2	5

(2) 健康診査

ア 妊婦健康診査 (数値は本庁健康増進課で一括計上)

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。(母子健康手帳交付時に受診券を配付、医療機関に委託して実施)

イ 妊婦歯科健康診査 (数値は本庁健康増進課で一括計上)

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。1歳6か月児や3歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談にも応じた。

区分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
乳児健康診査 (4か月児)	12	82	81	98.8	5	9	3	2
乳児健康診査 (9か月児)	12	95	90	94.7	21	8	1	1
1歳6か月児 健康診査	6	86	82	95.3	19	2	2	4
3歳児 健康診査	6	95	87	91.6	24	11	-	12

エ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健康診査及び歯科衛生士によるブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児上の保健相談を行った。

(ア) 歯科健康診査

実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	う歯のある児 (人)
6	110	87	79.1	10 (11.5%)

(イ) 保健師による2歳児育児相談

・参加者延べ人数 10人

オ 乳幼児発達相談(2次健診) (数値は大平総合支所健康福祉課で一括計上)

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において発達に問題があると疑われる児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。大平・藤岡地域で合同開催し大平会場で実施した。

カ 乳児先天性股関節脱臼検診(数値は本庁健康増進課で一括計上)

3～4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

(3) 健康教育

ア 両親(母親)教室

妊婦と夫及び妊婦の支援者に対して、妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサル、お風呂の入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また、先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。

・実施数 3回1コース

・参加者

(単位：人)

妊婦	夫	祖父母	先輩ママ	先輩パパ
24	11	1	4	-

イ すくすく教室(子育て支援教室)

すくすく教室では2～5か月児を対象に、よりよい親子関係の育成を目的として、子どもの発達に合わせた育児知識の提供や親同士の交流を図った。

・実施数 2回1コース(年6コース)

・参加者延べ数 105組

・内容 離乳食教室、ベビーマッサージ講習、子育てアドバイス等

ウ 健診事後教室(ちゃいちゃいぐるーぷ、ぺんぎんぐるーぷ)(数値は大平総合支所健康福祉課で一括計上)

幼児健康診査等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。大平・藤岡地域で合同開催し、大平会場で実施した。

エ 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情を高めるため、中学生とその保護者を対象に、保健教育を行った。

対 象		実施回数(回)	参加人数(人)
講演会※	中学校	2(2校)	生徒120 保護者13

※小児生活習慣病予防健康教育と同時実施

オ 小児生活習慣病予防事業

小児肥満や小児生活習慣病の実態を把握し、小児生活習慣病予防健診や健康教育を行った。

(7) 小児生活習慣病予防健診

対 象	実施回数(回)	対象者数(人)	受診者数(人)
小学4年生	4(4校)	144	138
中学1年生	2(2校)	123	115

(イ) 小児生活習慣病予防健康教育

対 象	実施回数(回)	参 加 人 数(人)
小学4年生とその保護者	1(1校)	児童28 保護者27
中学1年生とその保護者	2(2校)	生徒120 保護者13

(ウ) 学校との情報交換

対 象	実施回数(回)	参 加 人 数(人)
中学校	1(1校)	学校保健委員ほか19

カ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配付を行った。

- ・実施回数 12回(9か月児健康診査終了後)
- ・参加者延べ数 90組

キ フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図るため、下都賀歯科医師会と1市2町の共催で小学1年生と年長児に対しフッ素塗布及び歯科医師による歯の健康相談を行った。(年1回)

- ・フッ素塗布者数 (単位：人)

小学1年生	年長児	合 計
34	24	58

ク よい歯のコンクール(数値は本庁健康増進課で一括計上)

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール(3歳児の部、親と子の部)を実施し、歯及び口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの1次審査を兼ねており、成績優秀者は、県南地区の2次審査に推薦した。

(4) 健康相談

ア 子育てサロン

子育てについて適切な相談、助言を行うことで、育児の不安感の軽減を図り、前向きに育児ができるよう支援した。個別相談のほか、身体計測、発達チェック及び離乳食やおやつ摂り方についてのグループ指導等を実施した。

- ・実施回数 12回
- ・参加者延べ数 254人(127組)

イ 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい軽度発達障がい等について、診断の有無に関わらず支援を行うとともに、構音障がいや肥満等への支援を目的に、年中児を対象に、市内幼稚園、保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。

・実施状況

(単位：人)

受診数	結果内訳					
	異常なし	今回のみ 指導	要経過観察	2次健診・医 療機関紹介	相談事業・療 育機関紹介	フォロー 継続中
146	93	6	25	7	8	7

ウ 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に、保健師、在宅助産師による訪問指導を行った。

- ・指導実数 2件
- ・指導延べ数 2件

エ こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

- ・訪問数 82件

(5) 母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員（藤岡地域17人）が、妊産婦や乳児の家庭訪問及び子育て教室の協力を行った。活動を通し地域と行政のパイプ役を担った。

活動内容	妊婦関係	乳幼児関係	その他	計
件数(件)	55	28	55	138

3 特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び特定保健指導を行った。

(1) 特定健康診査、後期高齢者健康診査及びヤング健診（数値は本庁健康増進課で一括計上）

- ・実施回数 12回
- ・実施場所 藤岡保健福祉センター

(2) 特定保健指導

区分	対象者数(人)	保健指導数(人)	初回指導率(%)
積極的支援	29	21	72.4
動機付け支援	79	63	79.7
合計	108	84	77.8

(3) メタボ予防講座（特保該当者）

ア 血糖まる分かり教室

メタボリックシンドローム及び糖尿病の予防や改善のための栄養・運動指導を行った。

- ・実施回数 8回

- ・参加延べ人数 5人

イ チャレンジ運動教室

メタボリックシンドロームの予防や改善のための運動指導を行った。

- ・実施回数 14回
- ・参加延べ人数 30人

4 健康診査事業(健康増進法による健診)

健康増進法に基づき、健康診査、各種がん検診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診（個別検診）等を行った。

- ・集団健診実施回数 12回
- ・集団健診実施場所 藤岡保健福祉センター

5 結核検診事業

結核の早期発見、早期治療を図るため、医療法人宇都宮健康クリニックに委託し、胸部レントゲン検査を各会場で行った。

- ・実施会場数 45会場
- ・受診者数 2,001人

6 健康づくり事業

(1) 健康教育

ア 血糖まる分かり教室（特保該当者の教室と同時開催）

メタボリックシンドローム及び糖尿病の予防や改善のための栄養・運動指導を行った。

- ・実施回数 8回
- ・参加延べ人数 47人

イ チャレンジ運動教室（特保該当者の教室と同時開催）

メタボリックシンドロームの予防や改善のための運動指導を行った。

- ・実施回数 14回
- ・参加延べ人数 300人

ウ 歯周疾患病予防教育

歯の健康やセルフケアの基本方法等について指導を行った。

- ・実施回数 2回
- ・参加延べ人数 82人

エ 出前講座

地域や団体において、生活習慣病予防を図るための健康講話等を行った。

- ・実施回数 2回
- ・参加延べ人数 24人

(2) 健診結果説明会

- ・実施回数 10回
- ・参加人数 83人

(3) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

- ・実施回数 10回
- ・延べ相談者数 26人
- ・内容 保健師・管理栄養士による個別相談

(4) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、より具体的な栄養指導を行った。

- ・実施回数 5回（定期ほか1回含む）
- ・延べ相談者数 8人
- ・内容 管理栄養士による個別指導
- ・指導内訳

（単位：件）

糖尿病	2	高血圧	4	脂質異常症	4
肝臓病	-	腎臓病	2	その他	2

7 自殺予防対策事業

自殺者が増加している深刻な現状があることから、地域の自殺の現状を理解することや自殺に対する正しい知識の普及啓発を図った。

(1) 老人健康教室

- ・各地区公民館 2回
- ・参加人数 38人

(2) 笑いの講座

- ・藤岡公民館 1回
- ・参加人数 76人

(3) 啓発

各種事業時において、自殺予防相談窓口や自殺予防のための内容を含めたチラシ、パンフレット及びポケットティッシュ等啓発物品を配布した。

8 予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

小児及び高齢者の感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種を実施した。

(1) 定期予防接種

各種の定期予防接種対象者に個人通知を行い接種勧奨した。

ポリオ投与は集団接種で、他の予防接種は、予防接種協力医療機関において個別接種で実施した。

ア 集団接種

ポリオ投与（小児マヒ）

- ・実施回数 2回
- ・実施場所 藤岡保健福祉センター

イ 個別接種

B C G、三種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風）、麻しん風しん（混合）、日本脳炎、高齢者インフルエンザ、不活化ポリオ、四種混合（百日せき・ジフテ

リア・破傷風、不活化ポリオ)

(2) 任意予防接種

小児肺炎球菌ワクチン、インフルエンザ菌b型(ヒブ)ワクチン、子宮頸がん予防ワクチン、小児インフルエンザ、高齢者肺炎球菌ワクチンを各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

9 地域保健対策推進事業

(1) 健康まつり事業

市民の健康意識の高揚を図るため、ふくしまつり及び産業祭に参加し地域における健康づくりを推進した。

ア ふくしまつり

- ・実施日 10月21日(日)
- ・場 所 藤岡公民館
- ・参加者 健康チェックコーナー 63人
歯周疾患検査・ブラッシング指導 37人

イ 産業祭

- ・実施日 11月24日(土)
- ・場 所 藤岡総合体育館
- ・参加者 健康チェックコーナー 63人
歯周疾患検査・ブラッシング指導 45人
減塩みそ汁試食コーナー 42人

(2) 食生活改善地区組織活動

栃木市食生活改善推進団体連絡協議会藤岡支部(会員数22人)では、地域住民を対象に、食育活動や食事バランスガイドの普及、食生活改善のための講習会などを行った。

- ・各講習会 3回
- ・参加人数 153人

(3) 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

- ・訪問世帯数 110世帯
- ・保健師訪問指導延べ人数 262人

内訳

(単位：人)

精神保健	83	妊産婦	72	乳幼児	83	生活習慣病	11
新生児	2	低体重児	1	他の疾患	2	その他	8
心身障がい	-	結核	-				

10 藤岡保健福祉センター利用状況

(単位：人)

区分	会議室	検診ホール	調理実習室	その他	合計
利用者数	253	249	95	-	597

(当課事業及び市関係団体の通年使用を除く。)

11 渡良瀬の里利用状況

利用者相互の交流と憩いの場として、福祉及び健康の増進を図り、入浴、カラオケ、グランドゴルフの利用できる施設として運営しており利用状況は次のとおりである。

(1) 利用状況

・年度別利用者数 (単位：人)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	27,182	24,693	26,188

- ・開館日数 305日
- ・1日平均入場者 85.9人
- ・月別内訳

区 分 月 別	市内 (人)	市外 (人)	小学生 以下 (人)	障害者 (人)	回数券利用		計 (人)	利用料 (円)	開館 日数 (日)
					市内 (人)	市外 (人)			
4	1,375	274	23	237	310	86	2,305	253,100	26
5	1,536	319	35	238	266	66	2,460	246,700	26
6	1,432	332	33	176	248	24	2,245	233,500	26
7	1,397	334	19	212	288	14	2,264	244,400	26
8	1,182	225	40	196	252	17	1,912	193,000	27
9	1,256	208	25	207	257	16	1,969	192,200	26
10	1,305	272	21	212	296	31	2,137	231,300	26
11	1,230	334	32	204	318	17	2,135	205,900	26
12	1,221	277	31	181	277	13	2,000	213,300	23
1	1,463	259	33	199	292	18	2,264	230,300	23
2	1,421	260	20	253	230	32	2,216	217,200	24
3	1,389	332	32	258	247	23	2,281	236,800	26
計	16,207	3,426	344	2,573	3,281	357	26,188	2,697,700	305

(2) イベント状況

事業名	実施回数(回)	備 考
カラオケ大会	10	4月、9月を除く10か月に実施
歌謡ショー	12	毎月10日に実施

こども担当

1 放課後児童健全育成事業

家庭外就労等で保護者が留守のため、下校後に保護指導を十分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として、藤岡地域4か所の小学校区内において実施した。

・放課後児童会入会者数

(単位:人)

児童会名	1学年			2学年			3学年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
部 屋 (部 屋 小)	3	3	6	4	5	9	9	15	24	16	23	39
藤 岡 (藤 岡 小)	3	2	5	1	-	1	1	10	11	5	12	17
赤 麻 (赤 麻 小)	1	-	1	3	5	8	2	8	10	6	13	19
三 鴨 (三 鴨 小)	-	1	1	1	-	1	8	1	9	9	2	11
計	7	6	13	9	10	19	20	34	54	36	50	86

2 幼稚園就園奨励費補助金交付事業

私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者を対象とした保育料の減免措置に伴う補助金交付事務を行った。

(1) 国庫補助事業

- ・交付対象人数 221人
- ・交付額 23,849,900円

(2) 県補助事業

- ・交付対象人数 8人
- ・交付額 901,000円

(3) 市単独補助幼稚園第三子以降支援特別就園奨励費補助事業

- ・交付対象人数 29人
- ・交付額 5,229,800円

(4) 市単独補助幼稚園補助対象外児特別就園奨励費補助事業

- ・交付対象人数 50人
- ・交付額 300,000円

3 地域子育て支援センターふじおか

(1) 利用者数推移

(単位:人)

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合計
平成22年度	263	331	344	102	3	1	2	822	1,868
平成23年度	279	777	543	237	32	20	13	1,557	3,458
平成24年度	602	1,026	906	371	54	25	6	2,512	5,502

(2) 活動状況

ア 定例遊び

わくわくタイム

- ・実施曜日 毎週金曜日
- ・実施時間 午前 10 時 30 分～11 時 30 分
- ・実施内容 集団親子活動を行い、歌、ふれあい遊び、体操、季節の製作、紙芝居や絵本の読み聞かせ等毎回テーマを決めて実施。
- ・実施回数 35 回
- ・参加者 延べ 5,216 人

イ 特別活動 (単位：人)

No	活 動 名	参加人数
1	親子リトミック	30
2	保育園との交流会 (4 回)	69
3	おやつ講習会	21
4	親子ビクス	30
5	クリスマス会	73
6	幼児安全法講習会	12
7	おたのしみ広場	51
合 計		286

ウ 子育て相談 (単位：件)

相 談 内 容		相談 件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関するこ と	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ ほか	15	15	0
排泄に関するこ と	おむつはずし、便秘 ほか	14	14	0
睡眠に関するこ と	夜更かし、夜泣き、眠りが浅い ほか	3	3	0
健康に関するこ と	ほふく、歩行、身体の発達、健康 ほか	20	19	1
ことばに関するこ と	発語が遅い、幼児語 ほか	5	5	0
対 人 関 係	他の子とのかかわり ほか	3	3	0
そ の 他	性格、育児依頼、入園、病気、親のストレ ス、家庭環境、祖父母との関わり ほか	41	41	0
合 計		101	100	1

4 児童手当

次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することと、家庭等の生活の安定に寄与するため、児童を養育する保護者へ案内・受付を行った。

- ・児童手当受付件数 230件

5 赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に寄与することを目的とし、2子以降のお子さんが誕生した、市内に住所を有する保護者から赤ちゃん誕生祝金の申請受付を行った。

(単位：件)

事業名	祝金額	受付件数
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子 10,000円	25
	第三子以降 20,000円	18

6 児童扶養手当・遺児手当

児童の健全な育成及び福祉の増進を図るため、父母の離婚や死亡などによって片親と生計を同じくしていない児童、または片親が重度の障害の状態にある児童について児童扶養手当、父母の一方又は両方が死亡した児童について遺児手当の案内・相談・受付を行った。

(単位：件)

種別	受付件数
児童扶養手当	8
遺児手当	-

7 保育所

保育所は、児童福祉法に基づき保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とする児童福祉施設であり、保護者の就労、疾病等の事由により、家庭において充分児童を保育することができない場合、保護者に代わり一般家庭と同様に保育することにより、その心身の健全な発達・育成を図った。

また、子どもを取り巻く社会環境の変化に対応し、地域における子育て支援のため、乳幼児などの保育に関する相談や助言等を行った。

(1) 保育所入所状況

ア 児童定員・異動状況

(単位：人)

区分	保育園名	定員	24年4月1日 入所児童数	途中入所 児童数	退所児童数	25年3月1日 入所児童数
公立	三嶋保育園	45	20	5	-	25
	赤麻保育園	45	27	2	-	29
	部屋保育園	60	28	4	-	32
	藤岡保育園	60	39	6	1	44

計	210	114	17	1	130
---	-----	-----	----	---	-----

イ 階層別児童数 (平成25年3月1日現在 単位:人)

区分	保育園名	1階層	2階層	3階層	4階層	5階層	6階層	7階層	8階層	9階層	計
公立	三鴨保育園	-	6	3	6	4	1	2	2	1	25
	赤麻保育園	-	5	3	3	7	3	7	1	-	29
	部屋保育園	-	2	7	9	5	2	5	2	-	32
	藤岡保育園	1	15	5	11	7	1	1	3	-	44
合計		1	28	18	29	23	7	15	8	1	130

※ 階層：所得税・市民税の合計により算定する保育料の区分

ウ 年齢別児童数 (平成25年3月1日現在 単位:人)

区分	保育園名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上	計
公立	三鴨保育園	2	5	4	2	12	25
	赤麻保育園	2	3	5	5	14	29
	部屋保育園	2	5	3	4	18	32
	藤岡保育園	5	4	6	6	23	44
合計		11	17	18	17	67	130

(2) 施設運営全般

施設運営上の目標

- ・ 幼児の心身の発達を助長するために、特に安定感のある物的及び人的環境の整備
- ・ 幼児と保育士等職員が相互に関わり合う場合に必要な空間としての環境と設備の有効利用
- ・ 保育内容の充実と技術の向上
- ・ 安全対策と保護者との対応
- ・ 地域における子育て支援

(3) 保健管理

ア 健康診断の実施状況

区分	回数(回)	実施月	結果と措置
健康診断	2	9月・2月	結果については、保護者連絡
歯科検診	2	6月・11月	結果については、保護者連絡

イ 検便等の実施状況

区分	回数(回)	実施日	結果と措置
寄生虫卵	2	6月21日・11月15日	結果については、保護者連絡
検尿検査	2	6月21日・11月15日	結果については、保護者連絡

ウ 健康状態の観察及び個別検査の状況

(ア) 観察

朝、出席受付の際子どもの状態を観察、保護者から家庭での状況を聴取して対応

(イ) 個別検査

保育中の発熱、けがなどを随時確認し、保護者に連絡の上、処置

(ウ) 伝染病の発生と管理

流行性疾病の場合は、登園停止として、医師の診断により対応

・発生件数 なし

(4) 児童保育の内容

ア 保育目標

- ・心身ともに健康なこども
- ・自分で考えて行動するこども
- ・喜んで話したり聞いたりするこども
- ・人とのかかわり合いの中で相手を思いやるこども
- ・豊かな感性をもつこども
- ・地域の中で育つこども

イ 保育内容の構成と指導計画

保育目標に基づき年間計画、月案、週案、日案の計画を立てる。

ウ 年間行事実施状況

区 分	社会的行事に合わせた行事	主 な 行 事
4 月		入園式
5 月	こどもの日、母の日	園外保育
6 月	歯の衛生週間、父の日、時の記念日	みかも山ハイキング
7 月	七夕祭り	納涼祭
8 月		
9 月	防災の日、敬老の日	運動会（三鴨）
10 月	体育の日	運動会（藤岡・部屋・赤麻）、 みかも山ハイキング、親子旅行
11 月	シルバースポーツ大会、 地域ふれあいの集い	
12 月	八州園訪問 師走	クリスマス会
1 月	お正月	保育参観
2 月	節分(まめまき)	お別れ遠足
3 月	ひなまつり	お別れ会、卒園式

※その他、2か月に1回誕生児の誕生会を催した。

エ 一時保育の状況

実施保育園名	延べ利用者数(人)
三鴨保育園	254

オ 低年齢児保育（0、1、2歳児）（平成25年3月1日現在・単位:人）

区分	保 育 園 名	0歳	1歳	2歳	計
公 立	三鴨保育園	2	5	6	13
	赤麻保育園	2	4	5	11
	部屋保育園	2	5	3	10

	藤岡保育園	5	4	6	15
	合 計	11	18	20	49

カ 保護者との連携

- ・ 保育参観
- ・ 送迎時の連絡
- ・ 子育て等相談

(5) 防災対策の状況

ア 設備、遊具等の整備点検

イ 避難訓練

ウ 安全のための実施訓練

事故、災害防止及び交通安全訓練等を定期的実施した。

(6) 給食実施状況

ア 予定献立の作成

副食は給食センターの栄養士が献立を作成する。

おやつは副食の献立を元に保育園で作成する。

イ 給食構成

- ・ 乳児 主食、副食、おやつ
- ・ 幼児 副食、おやつ

ウ 1日当たり平均栄養摂取量状況（1日当たりの平均栄養摂取量 副食＋おやつ）

保育園名	栄養素等 (kcal)	たんぱく質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビ タ ミ ン				食塩相当量 (g)
						A (μ gRE)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)	
藤岡地域内4保育園	392	17.7	14.1	268	2.1	206	0.26	0.45	31	1.9

(ア) 3歳未満児（主食及び副食＋おやつ）

栄養給与目標	510	20.2	11-17	230	2.7	130	0.25	0.28	20
--------	-----	------	-------	-----	-----	-----	------	------	----

(イ) 3歳以上児（副食＋おやつ）

栄養給与目標	400	19.0	13-20	270	2.2	130	0.30	0.35	20
--------	-----	------	-------	-----	-----	-----	------	------	----

エ おやつ

- ・ 1週のうち1日 手作りおやつまたは給食センターからのおやつ
- ・ その他 せんべい、クッキー等の市販品

(7) 特別保育科目設定実施事業

ア 世代間交流事業

高齢者福祉施設等への訪問や、季節的行事・伝承遊びに地域の高齢者等を招待し、世代間のふれあいを行った。

実施保育園	実施回数(回)
三鴨保育園	2
赤麻保育園	1
部屋保育園	2

藤岡保育園	1
合計	6

イ 異年齢児交流事業

入園前の乳幼児とその保護者を対象に、保育園児との交流を通し、遊びの楽しさや育児についてお互いに学びあえる場を設けた。また、小学生の訪問受け入れや小学校を訪問して交流を行った。

実施保育園	実施回数(回)
三鴨保育園	2
赤麻保育園	3
部屋保育園	3
藤岡保育園	1
合計	9

ウ 子育て・仕事両立支援

乳幼児を持つ保護者等に対して育児に関する情報提供等を通知した。